

機械検査受験の皆様へ

(株)テクノスタッフの技能検定受験支援満点合格塾のご案内

国家技能検定「機械検査」

このセミナーは、国家技能検定 1・2 級機械検査職種の本年度の学科・実技試験対策として開講いたします。

弊社のセミナーは、大手訓練法人が開催される多くの受講者を対象とした画一的なセミナーでなく個人の能力や経験に応じた本目細かい内容で企画しています。

又、講師陣も特級技能士・高度熟練技能者・技能五輪選手OB等の検定制度を知り尽くした現場経験豊富な者が合格を目指して徹底的に支援します。是非ともご参加ください。

1. 申し込みの流れ

受講希望者・会社
よりお申し込み

テクノスタッフホームページより専用フォームで申し込み。
定員制のため定員になり次第締め切ります。

(株)テクノスタッフより
受講者宛て請求書発行

申し込み受付後セミナー開催日 1 ヶ月前までに受講費用の
請求書を送りますので、1 週間以内に送金願います。

受講者受講費用
弊社銀行口座に入金

弊社にて口座への入金を確認いたします。
指定日までに入金がない場合はキャンセル扱いとします。

弊社より受講証
送付

入金が確認されましたらセミナー開催 2 週間前までに
受講票・テキスト等を送付いたします。

セミナー受講

受講者持参物は筆記用具、ノート、関数電卓です。
教材資料等は当日配布いたします。昼食は各自手配願います。

セミナーの開催中止、日程変更、会場変更などが発生した場合は、事前にお知らせします。
その場合は、何卒ご容赦願います。

2. 受講費用 59,000 円 (税別)

3. 開催日 11 月 28 日 (土)
11 月 29 日 (日)
9 時~16 時までの各 6 時間

4. 開催場所 〒569-0835 大阪府高槻市三島江 2-6-2
(株)テクノスタッフ「大阪匠塾」
阪急電車京都線「茨木市」駅より阪急バス「三島江」下車徒歩 5 分

(株)テクノスタッフ

機械、金型、電気、実装技術・技能伝承者集団 切削工具、測定工具、技能検定素材販売

〒569-0835 大阪府高槻市三島江 2-6-2 (株)テクノスタッフ「大阪匠塾」

電話：072-648-4720 FAX：072-648-4721 携帯：090-7107-0270 (関本)

E メール：info@tekunostaff.jp URL：https://www.tekunostaff.jp

1 級・2 級技能検定セミナー（2 日間）

担当講師：金子航三（機械検査特級技能士）

日	時間	講 義 内 容
1 日 目	9：00	<p>オリエンテーション機械検査実技試験（検査測定作業試験対策）1・2 級共通</p> <p>1（1）注意事項（15 項目）、試験課題各測定作業の指示事項（6 項目）説明と注意 （2）使用工具一覧表、ペーパーテスト試験時間、問題概要、自参用具、等の説明 （3）基本測定(測定の基本)、試験で使用(測定器、測定用具)測定前の準備、測定方法の説明</p> <p>2（1）試験課題、寸法測定 26（21）測定箇所、各測定器の使い分けの説明 （2）歯車のまたぎ歯厚測定、法線ピッチ、歯厚マイクロメータの使い方、当て方、測定方法の説明 （3）三針法によるねじプラグゲージの有効径測定、三針、有効径とは、有効径の計算式の説明 （4）外側マイクロメータの性能（器査）測定、性能とは、器査とは、手袋の使い方、ブロックゲージの取り扱い説明</p> <p>3（1）測定実習、測定準備の仕方、測定器類の正しい使い方、測定器具のゼロ点確認、補正の説明 （2）マイクロメータのラジエットの正しい使い方、その回数チェック、説明 （3）解答用紙、鉛筆、消しゴム、位置チェック、作業態度（測定作業姿勢、動作）のチェック、説明</p>
	12：00	昼 食 休 憩
	13：00	<p>4 測定作業(4 作業)の練習から、個別指導、補正が出来ているか、何故測定値が合わないのか？</p> <p>5 ペーパーテスト(計画立案課題) について説明</p> <p>6 基礎数学(算数)、直角三角形の性質、三平方(ピタゴラス)の定理、三角関数、三角関数の応用、逆三角関数、逆三角関数の応用、恒等式、2 項定理、正弦法則、加法定理、第一余弦法則、第二余弦法則、等の説明</p>
	16：00	7 ペーパーテスト過去の問題から、解答、解説、(解答の仕方、書き方、他)
2 日 目	9：00	8 測定の 4 作業(測定)から、各測定から個別指導、測定器の正しい取り扱い、他
	12：00	昼 食 休 憩
	13：00	<p>9 ペーパーテスト過去の問題から、解答、解説、(解答の仕方、書き方、他)</p> <p>10 計算問題の解き方、基本の三角形の作り方の説明</p> <p>11 解答の図面の書き方、測定する場合の段取り方法、測定方法の説明文の書き方、等の説明</p> <p>12 過去の問題から、解答、解説</p>
	16：00	13 合格する為の、必達合格法を説明